PRESS RELEASE 2025 年 8 月 1 日
No.2025-022

取材のお願い

JAPANFOUNDATION 国際交流基金

アメリカ人監督が撮る
東京のラーメン店と日本の四季『またいらっしゃい』配信
～ JFF Theater で初めての日本国内配信が決定～

国際交流基金（JF）は、2025 年 8 月 1 日から 10 月 31 日までの 3 か月間、**無料オンライン配信プラットフォーム「JFF Theater」**にて、**ドキュメンタリー映画『またいらっしゃい』**（英語タイトル：*COME BACK ANYTIME*）を世界各国に向けて配信します。

本作は海外からの視点で日本文化の魅力を再発見できる内容であることから、国際文化交流の一環として、**JFF Theater で初めて日本国内向けにも配信する映画作品**になりました。さらに、JF が制作した日本文化紹介動画や舞台作品も、国内からご視聴いただけます。

これにより、日本在住の方も JFF Theater をお楽しみいただけます。

『またいらっしゃい』は、アメリカ人監督ジョン・ダッシュバックが手がけたドキュメンタリー映画。東京で 40 年以上、地域に根ざしたラーメン店「びぜん亭」を営んだ植田正基さんに一年間密着し、ラーメン作りのみならず、自然と食が深く結びついたライフスタイルを丁寧に描いています。日本の風景の美しさや、旬の食材を味わう喜び、そして一杯のラーメンを通じて紡がれる人と人との絆を、温かな眼差しでとらえた作品です。

本作品のダッシュバック監督と出演者の田中貴さん（サニーデイ・サービス）にインタビューも可能です。ご希望の場合はお問い合わせください。

本作では、海外でも人気を集めるラーメン文化の魅力に加え、**日本の食文化の奥深さや、生き方そのものとしての「食」を見つめ直す視点**が描かれており、8 月にスタートする配信特集「日本食と味わう丁寧な暮らし」中の一作品として選定されました。特集「日本食と味わう丁寧な暮らし」では、他に、映画 3 作品と関連動画 1 本を配信します。
また、おなじく 8 月 1 日より、2 本の映画と 1 本の舞台収録による特集「スクールデイズ　その声が始まり」や特集「すしをめでる」などが開始されます。

ぜひ、ご注目ください。

【JFF Theater とは】
国際交流基金が運営する、**全世界に、無料で、多言語字幕付き**で日本の映画・動画を配信するプラットフォーム。
2024 年 8 月のオープン以来、登録者数は全世界で 10 万人余り（7 月 15 日時点）。ウェブサイトの表示言語は 17 言語、映画の字幕も最大 19 言語に対応。配信作品は一定期間ごとに入れ替わり、これまでに配信した映画作品は『すばらしき世界』『舟を編む』『ジャングル大帝 劇場版』など 36 作品に上ります。

JFF THEATER

配信作品への視聴者からのコメント：
とても美しくて感動的な物語で、本当に本当に楽しめました。この映画を届けてくれた JFF（Theater）に心から感謝します。（ブラジル）
※配信国・地域、字幕言語は作品により異なる場合があります。視聴できるコンテンツが日本では限定されます。

この件に関するお問い合わせ： 国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島　熊倉）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044　E-mail: press@jpf.go.jp

記

【配信概要】

ウェブサイト：JFF Theater（ジェイ エフ エフ シアター）
URL：https://www.jff.jpf.go.jp/
主催　　：国際交流基金（JF）
配信作品：『またいらっしゃい』（*COME BACK ANYTIME*）
その他の配信作品については、以下のラインナップをご参照ください。
配信期間：2025 年 8 月 1 日（金）11 時（日本時間）～10 月 31 日（金） 11 時（日本時間）
配信地域：全世界（作品により対象外地域あり。『またいらっしゃい』以外の映画は日本では視聴できません）
視 聴 料 ：無料。ただしユーザー登録が必要。

【作品情報】

『またいらっしゃい』

監督：ジョン・ダッシュバック／出演：植田正基、植田和子、田中貴（サニーデイ・サービス）／ドキュメンタリー／2021 年

アメリカ人映画監督が東京で 40 年以上続くラーメン店・びぜん亭を切り盛りする植田正基さんに一年間密着。芸術的なラーメン作りから、常連客と竹の子狩りや梨農家の収穫作業、自然薯掘りをする様子などが映し出される。四季折々の日本原風景の美しさ、旬の食材をいただく喜び、常連客に愛された植田さんの人柄を描く心温まるドキュメンタリー。一常連客として、音楽界きってのラーメン愛好家との呼び声も高いロックバンド、サニーデイ・サービスのベーシスト、田中貴さんも登場。日本のラーメンの歴史やびぜん亭の魅力を語る。

監督プロフィール

ジョン・ダッシュバック：東京を拠点とするアメリカ人映画監督。育った米国・ニューハンプシャー州ハノーバーにあるダートマス大学映画協会で上映される作品を手当たり次第に見るうちに大の映画好きとなる。大学で文学を学んだのち、コロンビア大学院で著名な映画編集者、ラルフ・ローゼンブラムに師事し、映画編集に打ち込む。90 年代後半のデジタル革命を追い風にしてインディペンデント映画制作や編集に携わる。「またいらっしゃい」は長編 2 作目にして初のドキュメンタリー監督作。撮影も初めて担当した。

関連情報
『またいらっしゃい』公式サイトでは、JFF Theater での本編の無料配信に合わせて、特典映像をレンタル配信します。
詳しくは https://ja.comebackanytime.com をご覧ください。
期間：2025 年 8 月 1 日（金）11 時（日本時間）～10 月 31 日（金）
内容：びぜん亭の閉店直前の様子を切り取った短編ドキュメンタリー「びぜん亭 最後の一杯」
未公開シーン、NG 集（計 65 分）

この件に関するお問い合わせ： 国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島 熊倉）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

【素材のご提供】
JFF Theater ロゴは、以下 URL からダウンロードできます。
https://jpffbm.box.com/s/ds323nnsudjnrvtzmqn9js5u9rbsp6i5
※各作品の画像については、お手数ですが、国際交流基金 ブランド推進部 広報課 press@jpf.go.jp にメールにてお問合せください。

【公式 SNS】
JFF Theater　@jfftheater_official　@jfftheater　@jfftheater

８月１日配信開始 作品ラインナップ

※特に記載がない作品は、日本国内での視聴はできません。

特集１．スクールデイズ　その声が始まり

自分の声と向き合って、夢や迷いの中で答えを探す青春の物語。
配信期間：2025 年 8 月 1 日（金）11 時～10 月 31 日（金）11 時（日本時間）

【映画】

新米記者トロッ子 私がやらねば誰がやる！

監督：小林啓一／出演：藤吉夏鈴、髙石あかり、久間田琳加／ドラマ／2024 年
エリート文芸部 VS 非公認新聞部
名門高校を舞台に繰り広げられるスパイ合戦に奔走する新米学生記者の活躍を描く青春エンタテインメント

(C)2024 THE SCOOP Film Partners

くちびるに歌を

監督：三木孝浩／出演：新垣結衣、木村文乃、桐谷健太／ドラマ／2015 年
ピアノが弾けなくなった元ピアニストの音楽教師とさまざまな事情を抱える離島の中学生たち。彼らのコーラスが心を動かす涙の感動作

©2015 Asmik Ace, Inc./PONY CANYON INC./ Shogakukan Inc./DENTSU INC./LesPros Entertainment Co., Ltd/Iwamoto Metal Co., Ltd./ KDDI CORPORATION/GYAO Corporation
©2011 Eiichi Nakata/Shogakukan

【動画】

ロロ『いつ高シリーズ vol.7『本がまくらじゃ冬眠できない』』 国内視聴可

劇作家・演出家の三浦直之が主宰する 2009 年結成の劇団・ロロによる、高校を舞台にした上演時間 60 分以内の連作群像劇『いつ高』シリーズ 7 番目の作品。

©MIKAMI Natsuko

特集 2. 日本食と味わう丁寧な暮らし

食と自然への静かな敬意と、丁寧に生きる日々を見つめた物語。

配信期間：2025 年 8 月 1 日（金）11 時～10 月 31 日（金）11 時（日本時間）

【映画】

土を喰らう十二カ月

監督：中江裕司／出演：沢田研二, 松たか子／ドラマ／2022 年

山荘で 1 人暮らす作家が禅寺で習った精進料理を作り、自然の恵みを頂く。

美しく推移する四季を通じ、人にとって真の豊かさは何かをみつめていくドラマ

©NIKKATSU CORPORATION, VAP Inc., THE YOMIURI SHIMBUN, The Shinano Mainichi Shimbun, NIPPON SHUPPAN HANBAI INC., STARCAT CABLE NETWORK Co., LTD. Futami-Shobo Publishing Co., Ltd., Smoke Inc.

またいらっしゃい 国内視聴可

監督：ジョン・ダッシュバック／出演：植田正基、植田和子、田中貴（サニーデイ・サービス）／ドキュメンタリー／2021 年

東京の老舗ラーメン店に集う常連客の笑顔と店主の温かな人柄

四季折々の食と自然に癒されるヒューマン・ドキュメンタリー

© 2021 JD Media Co. Ltd.

高野豆腐店の春

監督：三原光尋／出演：藤竜也、麻生久美子、中村久美／ドラマ／2023 年

尾道の人たちに愛される昔ながらの豆腐店

職人気質の父と出戻り娘の和やかな日々を描いたヒューマンドラマ

©2023 “Takano Tofu” Film Partners

もったいないキッチン

監督：ダーヴィド・グロス／出演：ダーヴィド・グロス、塚本 ニキ、井出 留美／ドキュメンタリー／2020 年

持続可能なアイデアに溢れた料理が盛りだくさん！

食品ロスと闘う日本で、廃棄食材を美味しく生まれ変わらせるキッチンカーの旅

©UNITED PEOPLE

【動画】

シネマ尾道（広島） - MINI THEATER JOURNEY

国内視聴可

『高野豆腐店の春』の舞台・尾道市で唯一の映画館であるシネマ尾道の紹介映像。映画上映のみならず、映画を通じた市民と映画人との交流の場として、尾道の映画文化を守っています。

©The Japan Foundation

この件に関するお問い合わせ： 国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島 熊倉）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

特集 3．すしを愛でる

和食の世界をもっと深く知ろう ー「すし」の魅力に迫る

配信期間：2025 年 8 月 1 日（金）11 時～10 月 31 日（金）11 時（日本時間）

【動画】

1.すしの歴史を旅する 国内視聴可

新鮮な魚介を使った握りずしは、今や世界中で親しまれる日本の代表的な料理です。この動画では、すしのルーツである、発酵させて作る「なれずし」に迫り、滋賀県の鮒ずしや岐阜の鮎ずしなど、伝統的なすし文化を紹介します。さらに、江戸時代に誕生した「握りずし」が、庶民の間でどのように広まっていったのかも描かれます。
すしが長い時間をかけてどのように進化してきたのか、その歴史と魅力を美しい映像とともにお楽しみください。

©The Japan Foundation

２．握りずしの世界 国内視聴可

すしは「新鮮な魚を握るだけ」と思われがちですが、実は職人の技と工夫が詰まった奥深い世界です。コハダやマグロなど、ネタごとに異なる下ごしらえが、味を最大限に引き出します。魚の目利きと仕入れを支える仲卸の存在も、すしの品質を支える重要な要素です。熟練の技「本手返し」や、最新技術による回転ずしの進化まで、すしの多彩な魅力を紹介します。
伝統と革新が共存する、すしの今をぜひご覧ください。

©The Japan Foundation

３．心をつなぐ郷土のすし 国内視聴可

日本各地には、地域の風土や文化を映し出す「郷土ずし」が受け継がれてきました。見た目も華やかな大阪の箱ずしや、家族で作る岡山のばらずし、葉で包んだ奈良の柿の葉ずしなど、素材も作り方もさまざまです。特別な日にふるまわれ、季節の移ろいや人とのつながりを感じさせてくれる存在でもあります。
すしは、地域の伝統と人々の絆を結ぶ、かけがえのない文化です。

©The Japan Foundation

特集 4．Japanese Film Festival Africa Online

特別な日本映画を、アフリカだけで。

7 月 15 日（火）から実施しているアフリカ向け特別配信『ももへの手紙』の関連動画として、「【日本の妖怪】妖怪大国ニッポン」を 8 月 1 日（金）から配信します。なお、アフリカ向けの『カメラを止めるな！』、『ももへの手紙』の配信は 10 月 15 日にて終了し、同日より別の映画作品の配信が開始されます。

配信期間：2025 年 8 月 1 日（金）11 時～10 月 15 日（水）11 時（日本時間）

【動画】

【日本の妖怪】妖怪大国ニッポン 国内視聴可

『ももへの手紙』を見て、日本の妖怪に興味を惹かれたら、さらに妖怪の世界を探求しましょう！古代から現代まで受け継がれ更新される日本の文化「妖怪」を紹介します。本動画は、日本の妖怪が時代を超えてどのように進化してきたのかを探る全 7 本のシリーズの第 1 作です。

©The Japan Foundation

以上

この件に関するお問い合わせ： 国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島 熊倉）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp